

## 2005年度 特定保健用食品の市場規模調査結果について

厚生労働省の許可団体である財団法人日本健康・栄養食品協会は、1997年度から隔年ごとに特定保健用食品の市場規模調査を実施してきましたが、今般、2005年度調査結果が別添のとおりまとまりましたので、お知らせします。

なお、当件に関するお問い合わせは、財団法人日本健康・栄養食品協会 特定保健用食品部 福本 成子 (TEL 03-3268-3132) 又は総務部 広報担当 中島 香 (TEL 03-3268-3134) にお願ひします。

## 2005 年度 特定保健用食品の市場規模 6,299 億円

＝特定保健用食品の市場及び表示許可の状況について＝

特定保健用食品制度は 1991 年(平成 3 年)に発足し、健康強調表示を国が許可・承認する制度として国際的にも注目されています。

1993 年(平成 5 年)に表示許可第一号の商品が誕生し、2005 年 12 月末現在、特定保健用食品として表示許可・承認された食品は 569 品目となっています。この間、特定保健用食品は 2001 年に栄養機能食品とともに保健機能食品に包含され、2003 年には新関与成分などの許可申請に関しては安全性について、食品安全委員会の討議を経るようにより手続きが変更されました。さらに 2005 年 2 月からは「条件付き特定保健用食品」などの導入、「規格基準型特定保健用食品」の創設、「疾病リスク低減表示の容認」など、いくつかの制度や手続きの改正を経て現在に至っています。

財団法人 日本健康・栄養食品協会(理事長 細谷憲政)は特定保健用食品制度発足以来、食品業界に対して許可取得のため関係官庁の行政方針および関連情報の入手・伝達等の支援活動を推進するとともに、健康食品全般について消費者への普及啓発活動を展開して参りました。その一環として 1997 年から隔年に市場規模調査を実施し、行政・学術関係、国内外のマーケティング関係者などに資料提供の一助として寄与してきました。

2005 年 11 月から 12 月にかけて、第 5 回目のアンケート調査を行い、その集計結果を中心として市場規模を推定し、併せて表示許可等の現状についてご報告させていただきます。

本報告の作成に当たり、特定保健用食品を開発、販売している各企業から多大の協力を得たことに深く感謝いたします。

当件に関するお問い合わせは (財)日本健康・栄養食品協会 特定保健用食品部 福本成子  
(TEL 03-3268-3132) または広報担当 中島 香(TEL 03-3268-3134)にお願いします。

チューインガムを中心としている歯関連については、2003年に大幅伸張したが、2005年は16億円増(前回比19.4%増)と伸び率は緩やかとなり、整腸関連に次ぐ961億円(構成比15.3%)の規模となっている。

2003年以来伸びている中性脂肪・体脂肪関連は、主要品目である食用油が2005年も伸び続け、更に茶飲料などの新製品の上市があり、881億円(構成比14%)の市場となった。

コレステロール関連では食用油のほかに半固形状ドレッシング(マヨネーズタイプなど)が寄与し、114億円増(前回比100.7%増)の市場となった。

血圧関連は新関与成分の品目の上市による増加が著しく、60億円増(前回比67.7%増)となった。

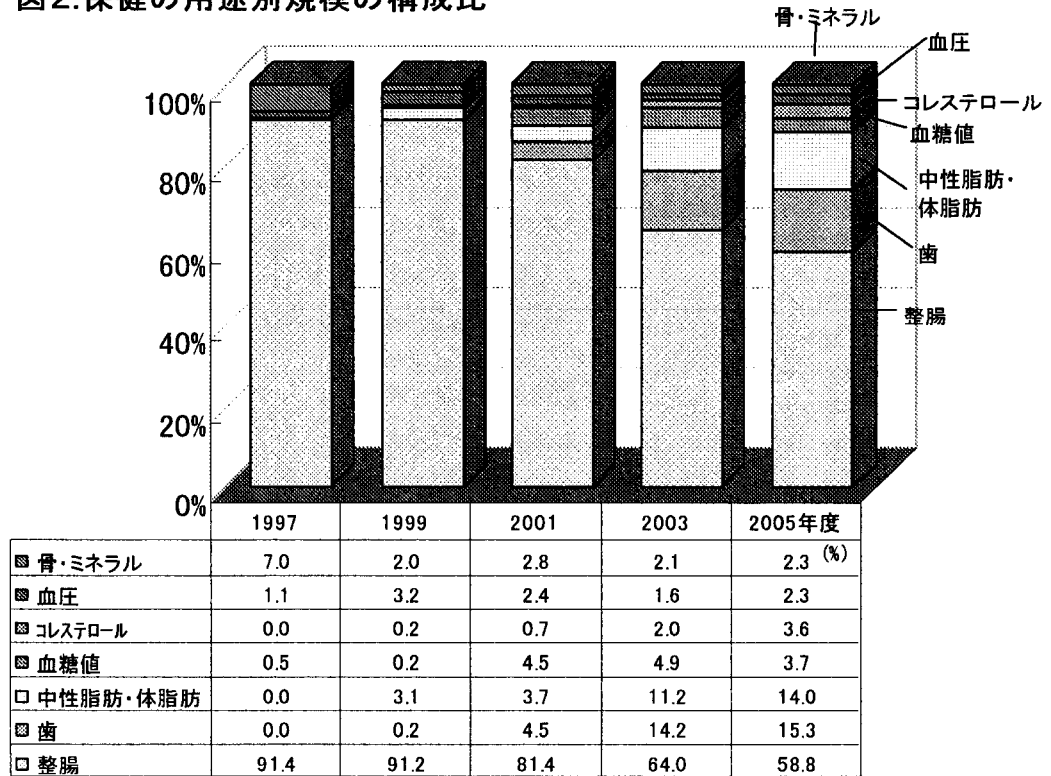
血糖値関連は44億円減(前回比16%減)でやや下降し、骨・ミネラル関連は23億円増(前回比19.3%増)となったが、まだ市場は小さい。

表 1. 保健の用途別規模の推移

(年度)

	1997	1999		2001		2003		2005		
	億円	億円	97比(%)	億円	99比(%)	億円	01比(%)	億円	03比(%)	
整腸	オリゴ糖	103.7	91.1	87.9	56.2	61.7	66.8	118.9	58.9	88.2
	乳酸菌	978.8	1,863.0	190.3	3,171.1	170.2	3,420.8	107.9	3,516.8	102.8
	食物繊維	119.1	115.5	97.0	128.1	110.9	141.8	110.7	129.9	91.6
	小計	1,201.6	2,069.6	172.2	3,355.4	162.1	3,629.4	108.2	3,705.6	102.1
コレステロール	0.3	4.3	1,433.3	27.9	648.8	113.6	407.2	228.0	200.7	
血圧	13.8	71.6	518.8	100.0	139.7	88.1	88.1	147.7	167.7	
骨・ミネラル	92.0	44.9	48.8	113.9	253.7	120.1	105.4	143.3	119.3	
歯	0	3.7	—	186.7	5,045.9	804.8	431.1	961.0	119.4	
血糖値	6.7	5.2	77.6	184.3	3,544.2	277.4	150.5	232.9	84.0	
中性脂肪・体脂肪	0	70.0	—	152.4	217.7	635.4	416.9	880.7	138.6	
合計	1,314.5	2,269.3	172.6	4,120.6	181.6	5,668.8	137.6	6,299.2	111.1	

図2.保健の用途別規模の構成比



(3) 流通経路別市場構成

アンケートに基づき、流通経路別売上構成も算出した。経路別構成に大きな変化はなかったが、今回は「その他」ルートの中で、駅売店によるチューインガムの販売が目立った。(表2)

表2. 流通経路別市場構成

(年度)

	1999		2001		2003		2005	
	億円	構成比	億円	構成比	億円	構成比	億円	構成比
スーパー・デパート	1,120	49.4	1,948	47.2	2,288	40.3	2,663	42.3
コンビニ	287	12.6	601	14.6	884	15.6	925	14.7
戸配	698	30.8	1,271	30.8	1,948	34.4	2,069	32.8
食品系ルート小計	2,105	92.8	3,820	92.6	5,120	90.3	5,657	89.8
医薬品系	93	4.1	156	3.8	171	3.0	196	3.1
通信販売	16	0.7	40	1.0	44	0.8	43	0.7
その他	55	2.4	105	2.6	334	5.9	403	6.4
計	2,269	100.0	4,121	100.0	5,669	100.0	6,299	100.0

## 2. 新関与成分の状況

2004年から2005年の間に表示許可を受けた171品目の中で、新関与成分の品目をまとめた。すでに発売され大きな市場を獲得した品目があり、今後成長が予想される血压関連品目の多いことが注目される。(表4)

表 4.2004～2005年の新関与成分

関与成分	保健の用途
わかめペプチド	血压
γ-アミノ酪酸(GABA)	血压
ノリペントペプチド(AKYSY)として	血压
酢酸	血压
ゴマペプチド(LVYとして)	血压
LC1 乳酸菌	整腸
コーヒー豆マンノオリゴ糖(マンビオースとして)	整腸
ビフィズス菌 Bb-12 (Bifidobacterium latiss)	整腸
緑茶フッ素	歯
ブロッコリー・キャベツ由来のSMCS(天然アミノ酸)	コレステロール

## III. むすび

トクホの市場規模は、6,299億円(2003年比11.1%増)の市場規模となった。当初は整腸関連、特に乳酸菌の許可品目の増加にあわせて急成長してきたが、2003年頃から伸び率は縮小し今回も微増にとどまった。整腸関連に代わって中性脂肪・体脂肪、コレステロール、血压および歯関連の商品群が成長し、規模拡大へつながってきた。

調査を開始した1997年以降、市場規模が拡大をつづけてきたのは、特定保健用食品が生活習慣病の一次予防に役立つものとして、国民・消費者にその存在が普及・浸透してきたことと、企業の開発努力による成果と考えられる。

当協会は、今後も消費者へ適切な情報提供を図るとともに、企業への支援活動を行い、さらなる市場規模拡大に貢献していきたい。